

使用の際は、巻末の「**使用上のご注意**」を必ずお読みください

取扱説明書番号
D220-RGX D

室内用

電波時計 取扱説明書

(デジタル電子音目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

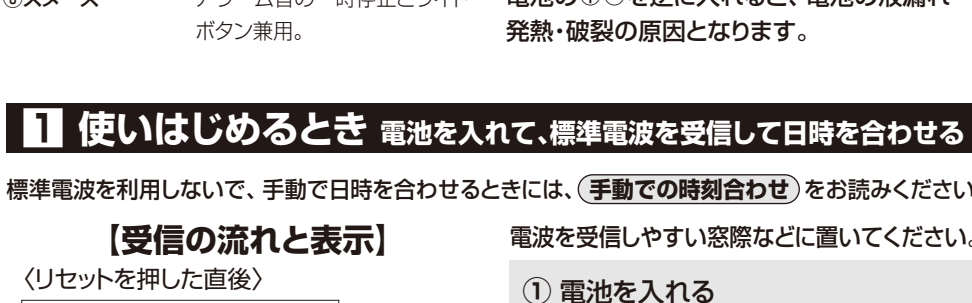
リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市北区内日町299番地12
https://www.rhythm.jp

電池は付属しておりません。単3形アルカリ乾電池を2個ご用意ください。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のもとは異なることがあります。



※液晶の表示は見る方向により薄くなったりムラになったりします。

- ①リセット
- ②アラーム1(+)
- ③アラーム1(-)
- ④アラーム2(+)
- ⑤アラーム2(-)
- ⑥時刻合わせ
- ⑦モニター
- ⑧スヌーズ

音量: 大: アラーム音量「大」、小: アラーム音量「小」

電池の入れかた: ①電池ふたを開ける。②電池ホルダーの⊕表示に合わせて、単3形乾電池を2個入れる。③電池ふたを閉じる。

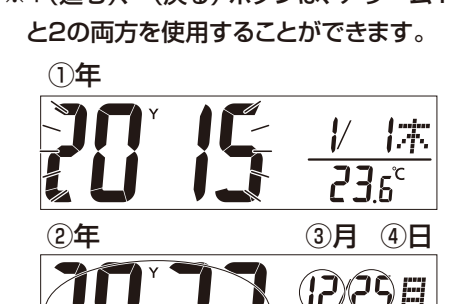
注意: 電池の⊕を逆に入ると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

1 使いはじめるとき 電池を入れて、標準電波を受信して日時を合わせる

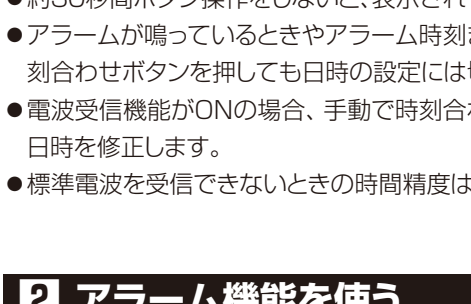
標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには、(手動での時刻合わせ)をお読みください。

【受信の流れと表示】

(リセットを押した直後)



(受信開始)



電池を入れた直後やリセットボタンを押した直後は、2015年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。

電波の受信中にアラーム1または2の+、-のいずれかを押すと、時刻合わせを約2秒押し続けると、受信マークが消灯し受信を中止します。

電波を受信しやすい窓などに置いてください。

- ①電池を入れる
- ②楊枝などでリセットボタンを押す
- ③20分待つて受信結果を確認する

受信は、最長で20分あります。受信マークが受信結果を確認してください。→【受信の流れと表示】参照

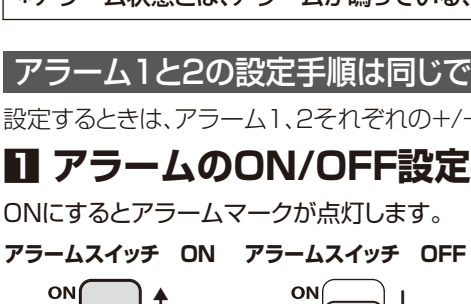
※転倒や落下を防ぐために、水平で振動の少ない安定した所に設置してください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った日時を表示することがあります。

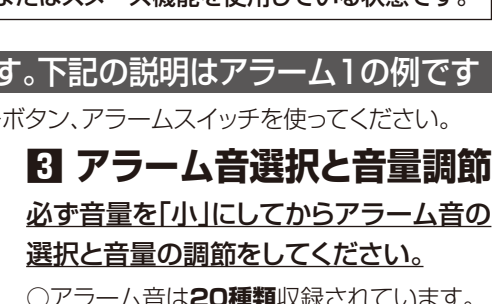
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きやすい所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下、ビルの中、ビルの谷間など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

(受信に成功したときの表示例)



受信成功 受信マーク点灯

(受信に失敗したときの表示例)



失敗! 受信マーク消灯

○受信マークが点灯し受信マークをマークも、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてからリセットを押し再度受信を試みてください。
○受信マークは、受信成功後24～25時間点灯します。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
- 場所を変える/受信をやり直す

標準電波を受信できないときには、手動で日付と時刻を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ

操作例に従って、年(西暦)、月、日、時刻(時/分/秒)の順に設定してください。

※+(進む)、-(戻る) ボタンは、アラーム1と2の両方を使用することができます。

①年 ②年 ③月 ④日

操作例: 2023年12月25日 午前10:37に合わせる

①年(西暦)が点滅するまで時刻合わせボタンを約2秒間押し続ける。

点滅している数値を+(進む)または-(戻る)で合わせてから時刻合わせボタンを押すと数値を確認して次に進みます。

ボタンを押してすぐ離す 押し続ける

②年(西暦)を合わせる ③月を合わせる ④日を合わせる

⑤時を合わせる ⑥分を合わせる ⑦秒を合わせる

以上で設定は終わりです。

- 約30秒ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、時刻合わせを終わります。
- アラームが鳴っているときやアラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても日時の設定には切り替わりません。
- 電波受信機能がONの場合、手動で時刻合わせをしなくても自動受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。
- 標準電波を受信できないときの時間精度はクォーツ精度になります。

2 アラーム機能を使う

重要 アラームは非常に大きな音で鳴ります。次のことに注意してください。

- 耳の近くで鳴らしたり、大音量で長期使用し続けたりすると聴覚障害になるおそれがあります。
- 建物の構造などにより室外に音が漏れることがあります。ご近所迷惑にならないように音量や置く場所などにご注意ください。

「アラーム1」と「アラーム2」、2つのアラーム時刻を設定して使用することができます。

- アラーム状態*のときに、もう一方のアラーム時刻になったときは、後からのアラームがスヌーズとオートストップ機能の対象になります。
- アラーム1と2のスイッチをONにしたときは、表示時刻に対して、最初に鳴る方のアラーム時刻を液晶表示します。
- アラーム1と2のアラーム音の種類と音量は同じになります。個別には設定できません。
- アラーム設定中に、もう一方のアラーム時刻になったときは、アラームは鳴りません。

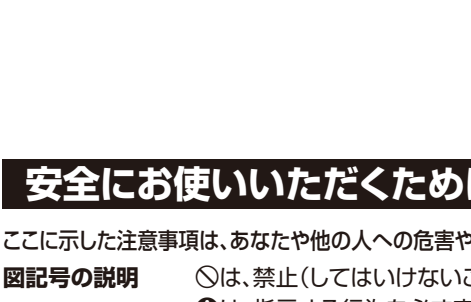
*アラーム状態とは、アラームが鳴っている、またはスヌーズ機能を使用している状態です。

アラーム1と2の設定手順は同じです。下記の説明はアラーム1の例です。

1 アラームのON/OFF設定

ONにするともアラームマークが点灯します。

アラームスイッチ ON アラームスイッチ OFF



2 アラーム音選択と音量調節

必ず音量を「小」にしてからアラーム音の選択と音量の調節をしてください。

○アラーム音は20種類収録されています。

○モニターボタンを押している間、鳴り続けているのでスイッチで音量を調節してください。

○モニターボタンを押すと音が切り替わり、最後に試験した音がアラーム時刻に鳴ります。

○スヌーズ中にモニターボタンを押すとアラーム音が切り替わります。

○最大音量は前面から10cmの距離で約90～100dBです。

※選択したアラーム音により、最大音量のレベルは異なります。

音レベルの目安: 100dB 電車が通るときのガード下、90dB 大の鳴き声(前方5メートル)、80dB 地下鉄の車内

スヌーズ機能(止めてもまた鳴る)

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームマークが点滅して約5分間アラームが停止してからまた鳴り出します。この操作は7回まで繰り返すことができます。これ以降はスヌーズボタンを押してもアラーム音は止まりません。

オートストップ機能(自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約5分で止まります。

3 表示面の照明

スヌーズボタンはライトボタンを兼ねています。ボタンを押している間より見てから5秒間、液晶表示面を照明します。照明がオフになるときは、時計正面や上方より覗いてください。他の方向から見ると読みにくいことがあります。

4 温度表示

本製品は、一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。

- センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度変化をすぐには反映しません。
- 直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近く、温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。

※設置する高さによっても温度は変わります。

※厳密な温度管理をする用途には適していません。また、温度の証明や商取引には使用できません。

※測定はリセット直後と、その後は1分間隔で測定します。

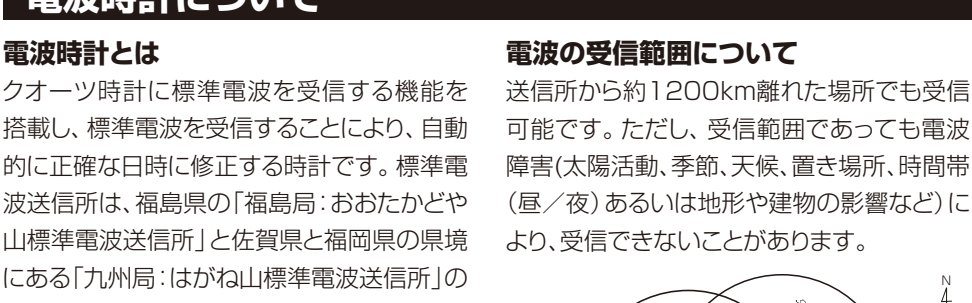
測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度「HI」50℃を超える高温 「LO」-9.9℃未満の低温

5 時刻表示形式の切り替え

時刻合わせを押してすぐ離すとAM/PM表示付きの12時間と24時間表示が切り替わります。

(12時間表示) AM/PM 12:00 00～11:59 (24時間表示) 0:00 00～23:59



アラーム時刻または日時の設定状態、アラーム状態、受信状態のときは表示の切り替えができません。

強制受信(+/-ボタンの長押し)とリセット操作

強制受信 (受信機能がONのとき)

場所を移動したときなどに、受信を試みたいときに使います。受信に失敗すると日時は継続して表示します。

操作 アラーム1または2の「+」と「-」の2つのボタンを同時に約2秒間押し続けると、⊕が点滅して受信を開始します。アラーム時刻または日時の設定状態、アラーム状態のときは強制受信を行いません。

リセット

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。

リセット直後は、2015年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00に設定されます。また、電波受信機能がONになり、受信を開始します。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

電波を受信できないときや誤受信しやすい所で使うとき、意図的に日時を変えて使うときは、電波を受信しないようにすることができます。

ON:受信機能有効 設定ができます OFF:受信機能無効 電波を受信しない

操作 アラーム1またはアラーム2の「+」と「-」ボタンを同時に8秒間押し続けると、ONとOFFが切り替わります。

※ON/OFFが切り替わるごとに、日付表示部にON/OFFが約2秒間点滅します。

○ONからOFFに切り替えるときは、2秒経過したときに強制受信になるため、⊕が点滅しますが、そのままボタンを押し続けしてください。

●OFFからONに切り替えると受信を開始します。

※アラーム時刻または日時の設定状態、アラーム状態のときは、切り替え操作ができません。

※電池を入れ替えたリセットを押すと、受信機能はONになります。

電池の交換について 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

注意 電池の液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕が発生することがあります。電池の液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

- 液晶表示が薄くなったり、アラーム音が鳴らなくなったときは、速やかに指定の電池に交換するが、電池を取り出す。
- 動いていても2年に1回、定期的に指定の電池に交換する。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 電池の⊕を逆に入れない。

静電気の影響について

静電気により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときにはリセットボタンを押してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

時計、電池の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

おもな製品仕様

使用温度 -10～50℃ *結露しない(液晶表示可読温度範囲0～40℃)

時間精度 標準電波受信成功直後 ±1秒

標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒(常温中のクォーツ精度)

推奨電池 単3形アルカリ乾電池 IIS規格 LR6 2個

標準寿命 標準(アラーム:30秒/日)(音響:2個)

標準電波 標準電波を受信して日付・時刻を修正

受信局 福島局/九州局自動選択

受信回数 8回/日

受信開始時刻 1時から4時、13時から16時の各時間帯16分40秒に受信を開始

受信ON/OFF ボタン操作にて切替可能

アラーム機能 セットした時刻にアラームが鳴る

アラーム精度 表示時刻に対して±0秒

アラーム音 電音(20種)

スヌーズ アラーム音が約5分間一時停止

オートストップ アラーム音が連続5分間で自動停止

カレンダー 2015～2099年対応

温度表示 -9.9～50℃

温度精度 ±2℃

測定範囲 1分

照明 スヌーズボタンを押している間と離してから5秒間照明

防滴防塵機能 なし

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなることがあります。40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。0～40℃になれば、正常に戻ります。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 保証書 1枚

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をシートのせかない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

梱包用のポリ袋をかぶらない

窒息する恐れがあります。

電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社総合サポートにてお問い合わせください。

下記のような場所では使わない

性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 換気扇の風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生する所。
- 車や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 長期間使用しないときは電池を取り出す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手の届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜて使わない。

電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

●一部の電池は、形状的に本製品には不向きなものがあります。(例:Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※EVOLTAは、パナソニック株式会社の登録商標です。

電池の寿命について

●温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。

●買い置きが電池を使用した場合、保管状態や乾電池に対応している「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信するごとに、自動的に正確な日時に修正する時計です。標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおたかや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがや山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。海外でのご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてお使いください。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能ですが、ただし、受信範囲でも電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://ijj.nict.go.jp)

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店からのアフターサービスが受けられない場合は、当社総合サポートにてお問い合わせください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきますことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 リズム総合サポート https://rhythm.jp/support/

商品照会の際は、裏面裏面または底面に表示されている製品番号(型番)を正確にください。例: 8RZ○○○

お客様相談室: 0120-557-005 受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなら責任を負いかねますのでご了承ください。